



# MONITOUCH

## テクニカルインフォメーション

2009年11月 5日

|      |                                    |                 |      |
|------|------------------------------------|-----------------|------|
| テーマ  | SP66-4S/SP67-4S シリアル接続・Ethernet 接続 |                 |      |
| 該当機種 | V8i シリーズ、横河電機製 PLC SP66-4S、SP67-4S | No. TI-M-1053-1 | 1/11 |

### 1. 目的

横河電機製 PLC FA-M3R の SP66-4S、SP67-4S の SIO ポート（シリアル）、TX ポート（Ethernet）と V8i シリーズを接続する際の設定手順を説明します。

本資料では、SP66-4S との接続を例にして説明します。

### 2. 接続環境

|       |  |
|-------|--|
| モニタッチ | : V8i シリーズ、V8 シリーズ+CU-03-2 または CU-03-3 |
| PLC   | : FA-M3R SP66-4S                       |
| 使用ソフト | : WideField2 Version R5.01             |

#### ※注意

Ethernet TCP/IP 接続の場合、CU-03-2/CU-03-3 を使った接続はできません。TCP/IP 接続の場合は V8i シリーズの内蔵 LAN ポートと接続してください。

### 3. 設定方法

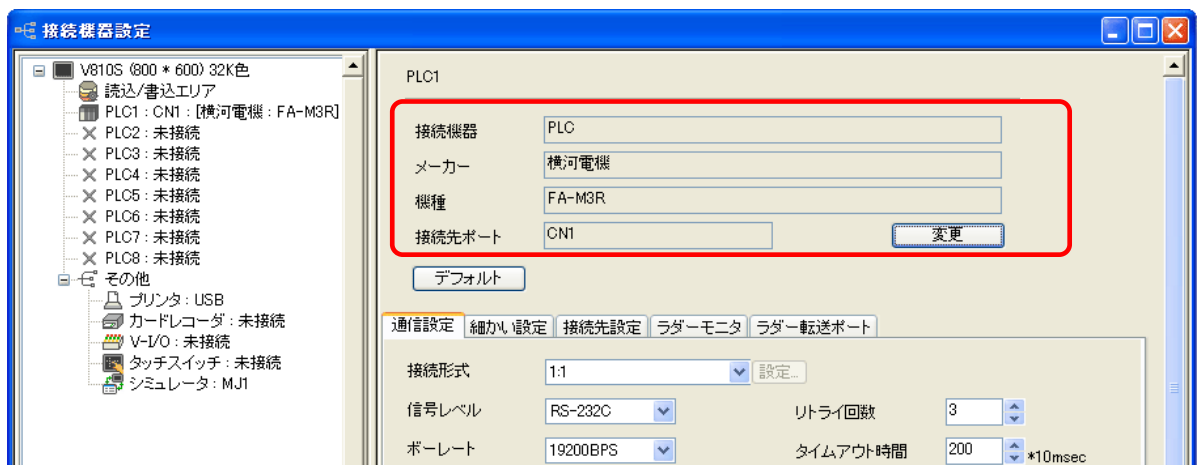
#### ■SIO ポートとの接続（シリアル接続）

SP66-4S の SIO ポートに、以下の設定で接続します。

|        |             |
|--------|-------------|
| ボーレート  | : 115200bps |
| パリティ   | : 偶数        |
| チェックサム | : なし        |

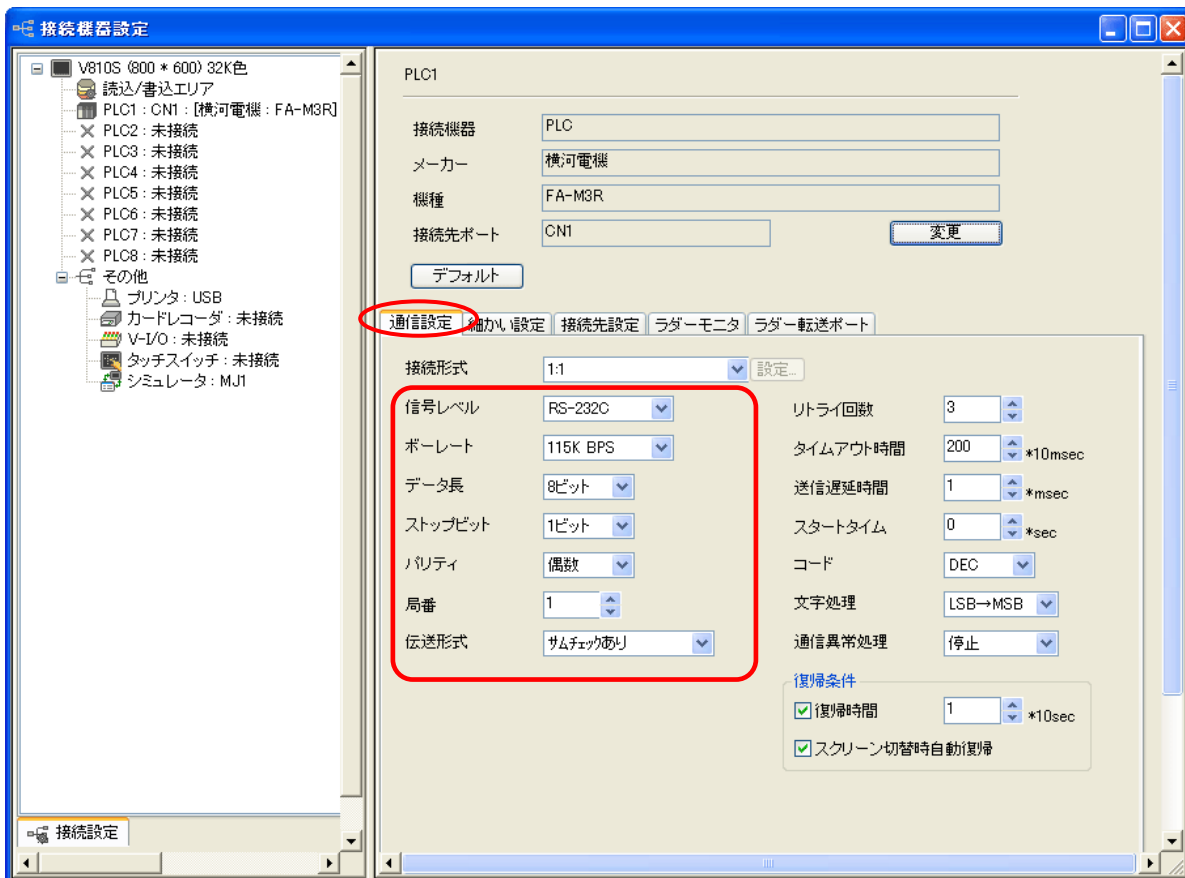
#### V-SFT-5 の設定

- ① 「システム設定」 → 「接続機器設定」 で「**横河電機 FA-M3R**」を選択します。



② 「通信設定」で以下のように設定します。

信号レベル : RS-232C  
 ボーレート : 115K BPS  
 データ長 : 8ビット  
 ストップビット : 1ビット  
 パリティ : 偶数  
 伝送形式 : サムチェックあり

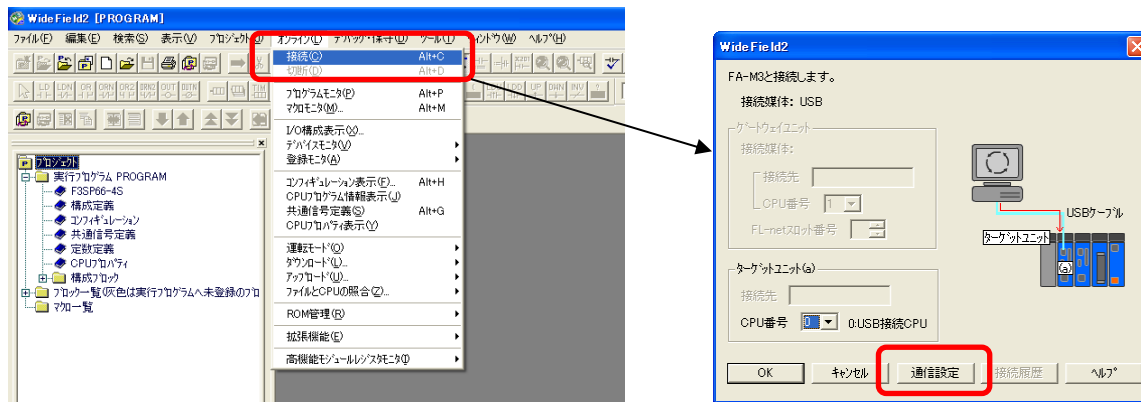


設定後、接続機器設定画面を閉じます。

V8i シリーズの通信設定は完了です。画面データを転送します。

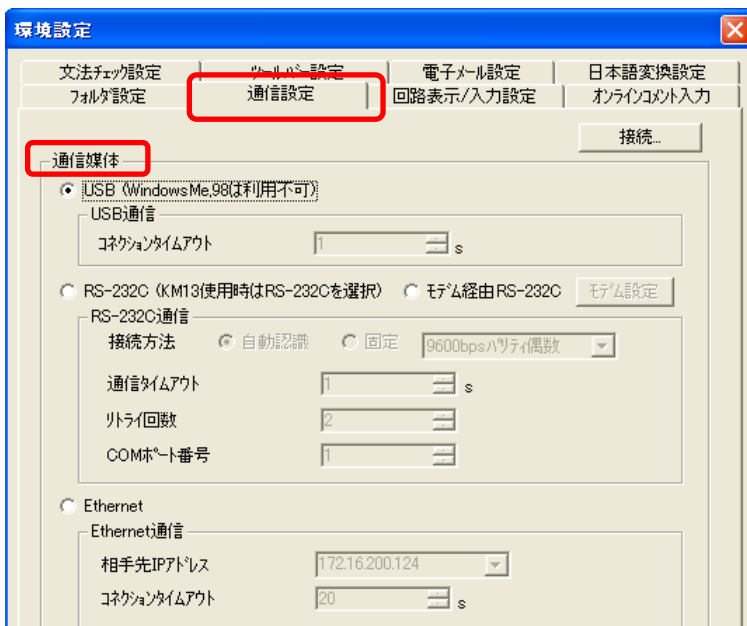
### WideField2 の設定

- ① WideField2 を起動し、プログラムを作成します。
- ② PC と SP66-4S を接続します。[オンライン] → [接続] をクリックします。[WideField2] ダイアログが表示されます。[通信設定] ボタンをクリックします。



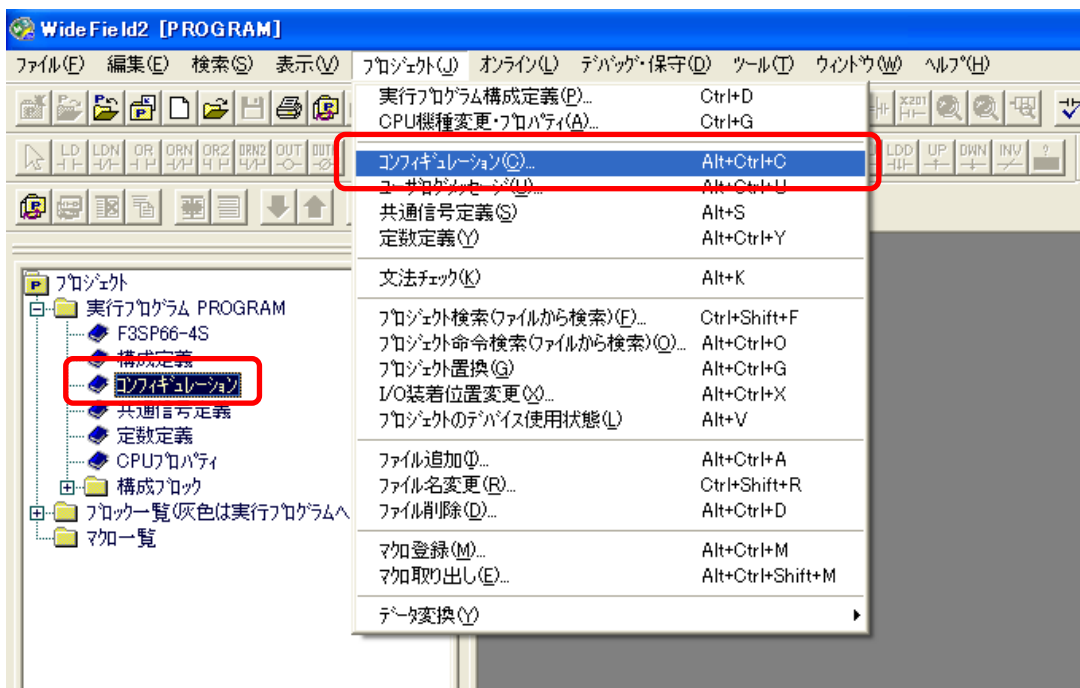
[環境設定] ダイアログが表示されます。[通信設定] タブを選択し、通信媒体を選択します。

これで PC~CPU 間の通信が可能になります。



- ③ V8i シリーズと SIO ポートをシリアル接続する設定をします。

[プロジェクト] → [コンフィギュレーション]をクリック、もしくは [プロジェクトウィンドウ] から [コンフィギュレーション] を選択します。



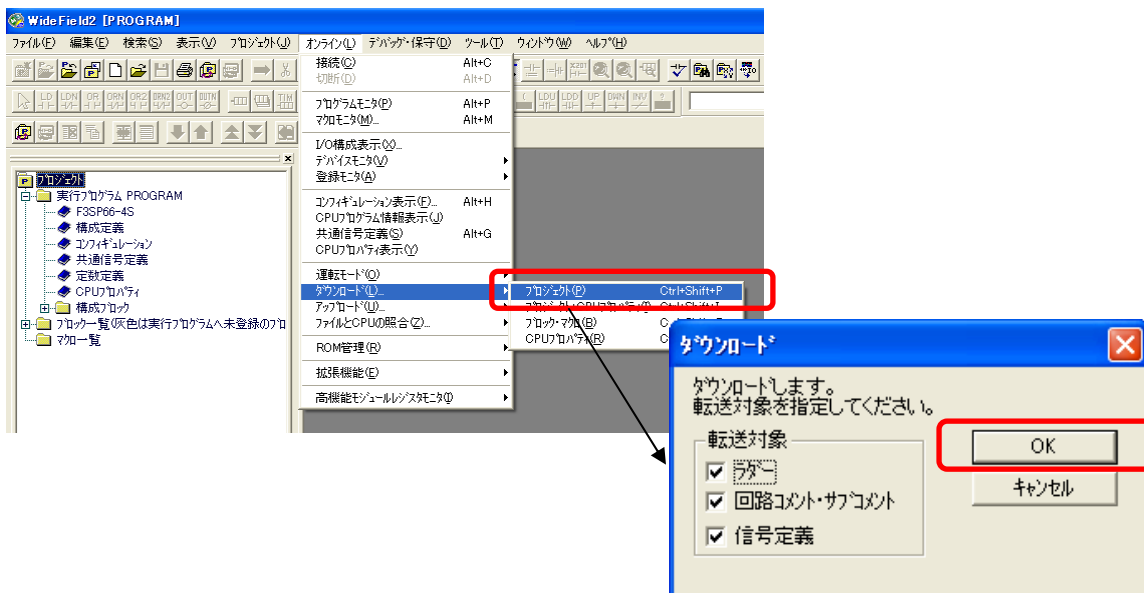
- ④ [コンフィギュレーション] ダイアログが表示されます。

[通信設定] タブを選択し、[通信モード]、[CPU パソコンリンク機能の設定] を以下のように設定し、[OK] をクリックします。(※ 終端文字、 プロテクト機能のチェックは入れないでください。)

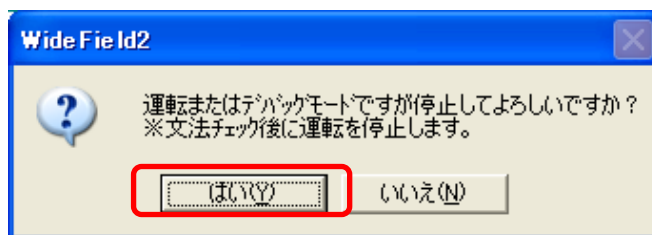


⑤ [オンライン] → [ダウンロード] → [プロジェクト] をクリックします。

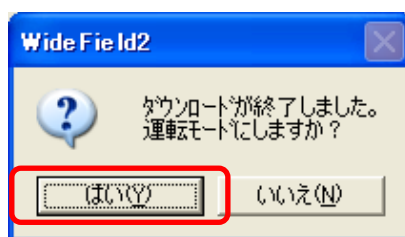
[ダウンロード] ダイアログが表示されます。[OK] をクリックします。



⑥ [WideField2] ダイアログが表示されます。[はい] をクリックします。



⑦ [WideField2] ダイアログが表示されます。[はい] をクリックします。



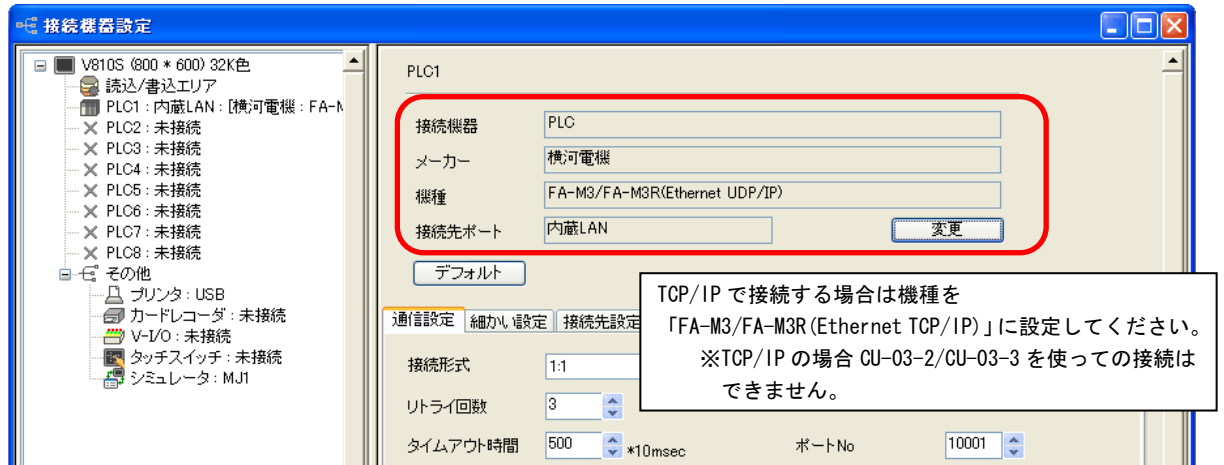
SP66-4S 側の設定は以上です。電源を再投入します。

## ■TXポートとの接続 (Ethernet 接続)

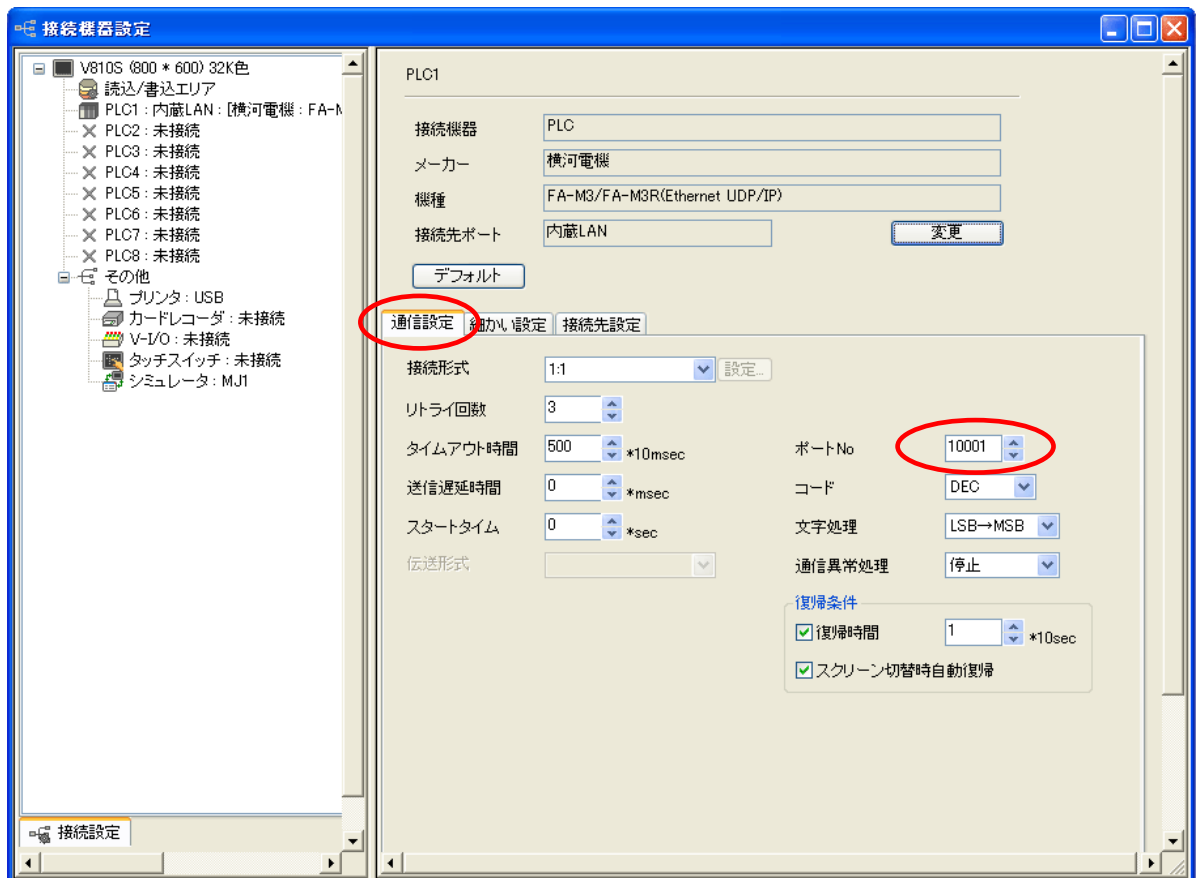
SP66-4SのTXポートと接続します。例ではUDP/IPで接続します。

### V-SFT-5の設定

- ① 「システム設定」→「接続機器設定」で「**横河電機 FA-M3/FA-M3R (Ethernet UDP/IP)**」を選択します。

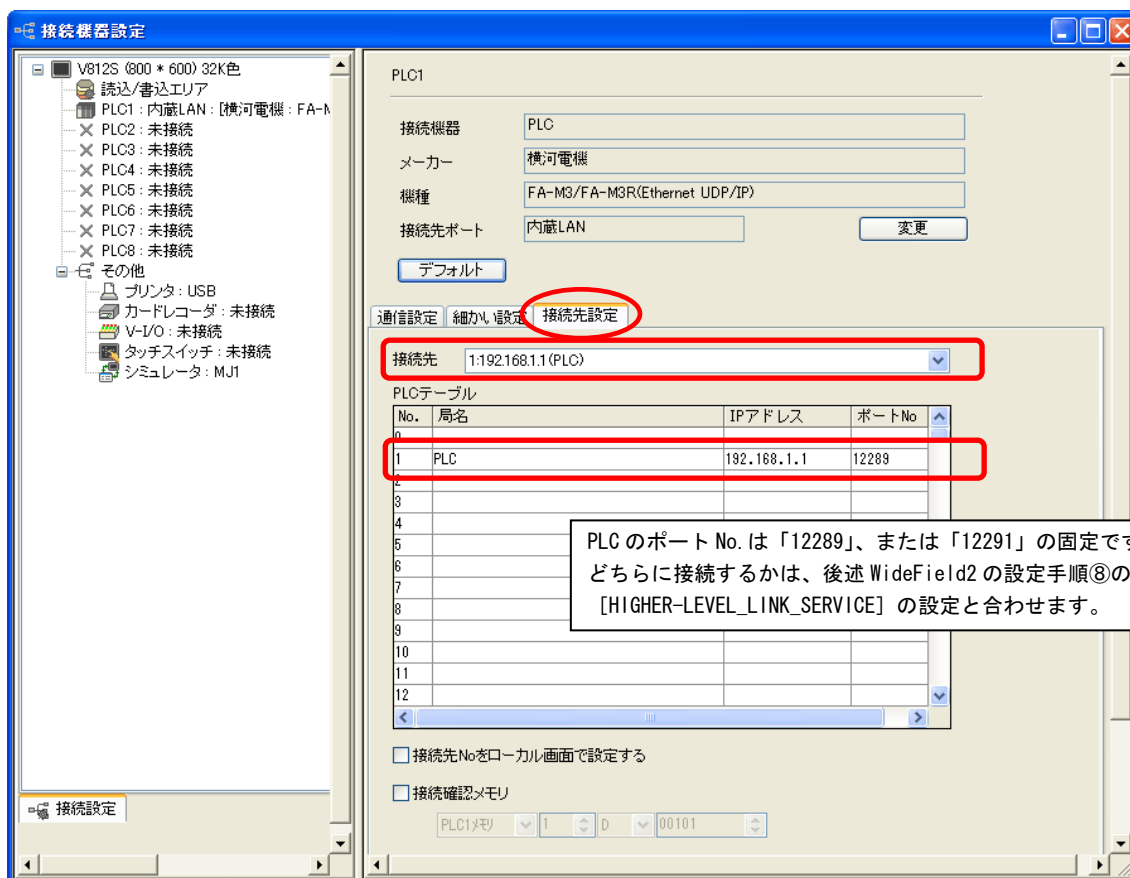


- ② 「通信設定」タブでポート No. を 10001 に設定します。



- ③ 「接続先設定」タブを表示させます。

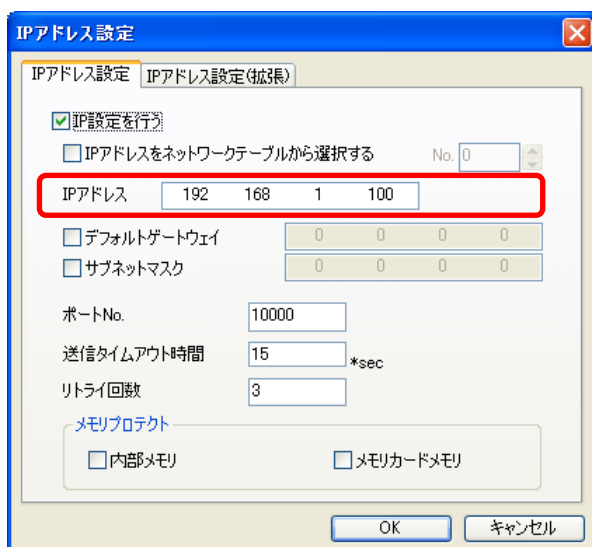
PLCテーブルに PLC の IP アドレスとポート No. 12289 を設定し、「接続先」で設定した PLC テーブル No. を選択します。



- ④ 設定後「接続機器設定」画面を閉じます。

- ⑤ V8i シリーズ本体の IP アドレスを設定します。

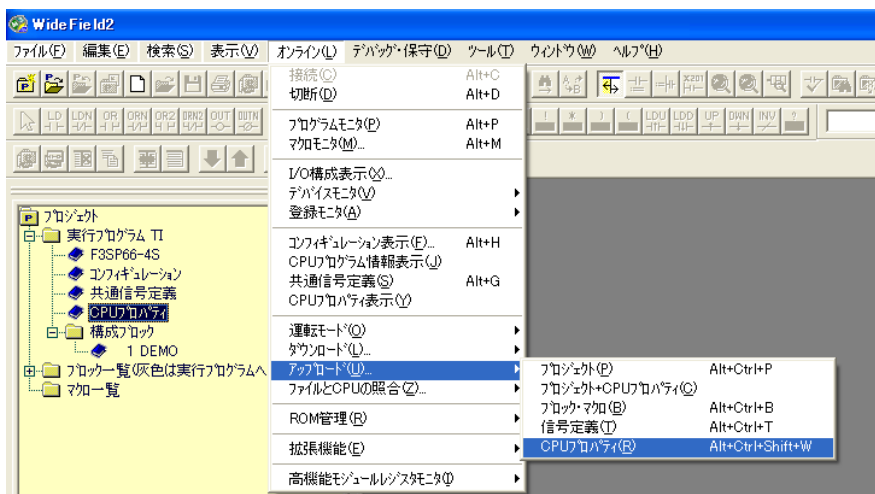
「システム設定」→「Ethernet 通信」→「自局 IP アドレス」で V8i シリーズの IP アドレスを設定します。



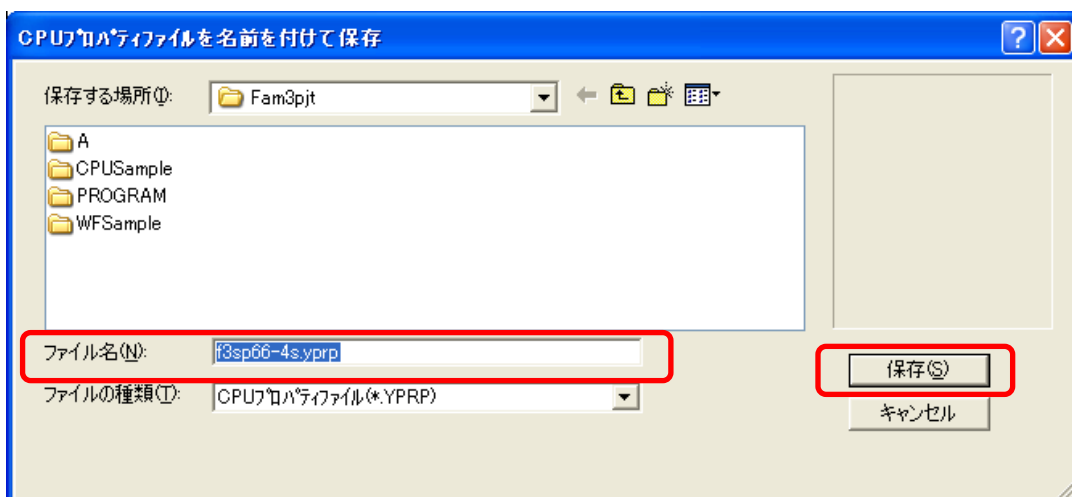
以上で V8i シリーズの設定は終了です。画面データを転送します。

### WideField2 の設定

- ① WideField2 を起動し、プログラムを作成、PC と SP66-4S を通信するための設定をします。  
P3/10①～②を参照してください。
- ② V8i シリーズと TX ポートを Ethernet 接続する設定をします。  
[CPU プロパティ] を取得します。[CPU プロパティ] を取得済みの場合は、⑤に進みます。  
[オンライン] → [アップロード] → [CPU プロパティ] をクリックします。本体から [CPU プロパティ] をアップロードします。



- ③ [名前を付けて保存] ダイアログが表示されます。ファイル名を付け、[保存] をクリックします。

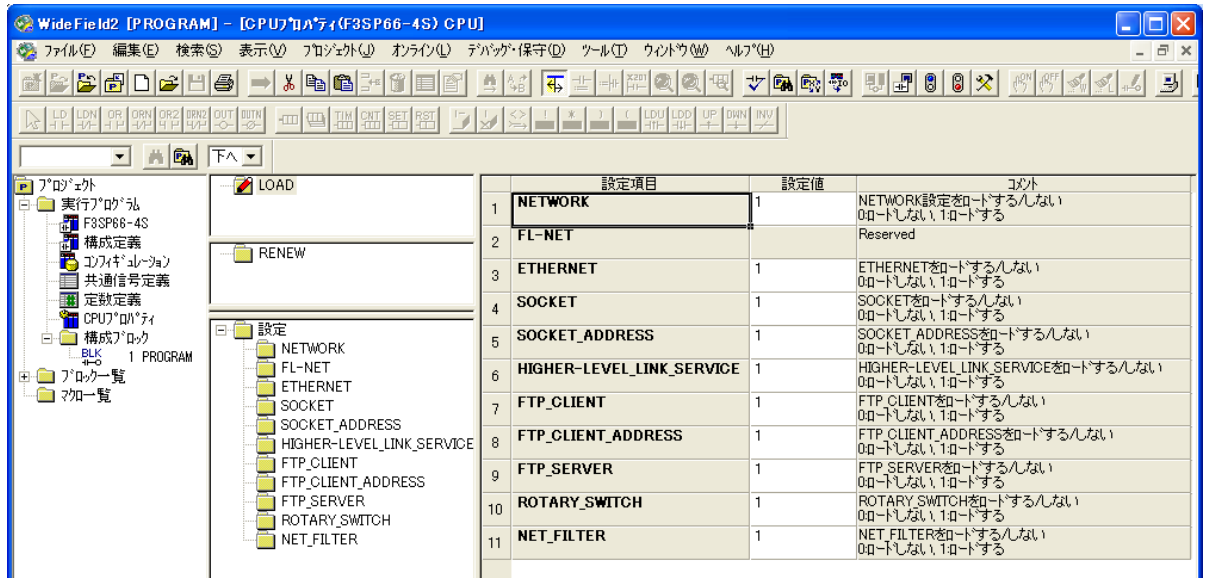


- ④ [WideField2] ダイアログが表示されます。[OK] をクリックします。

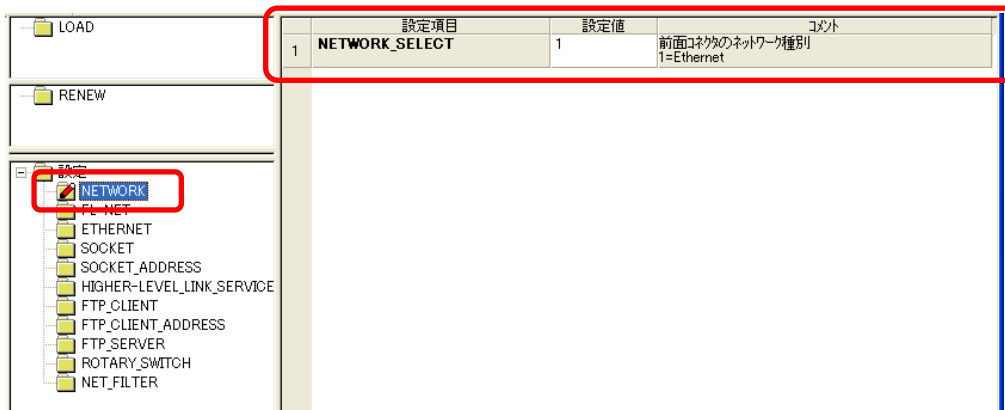




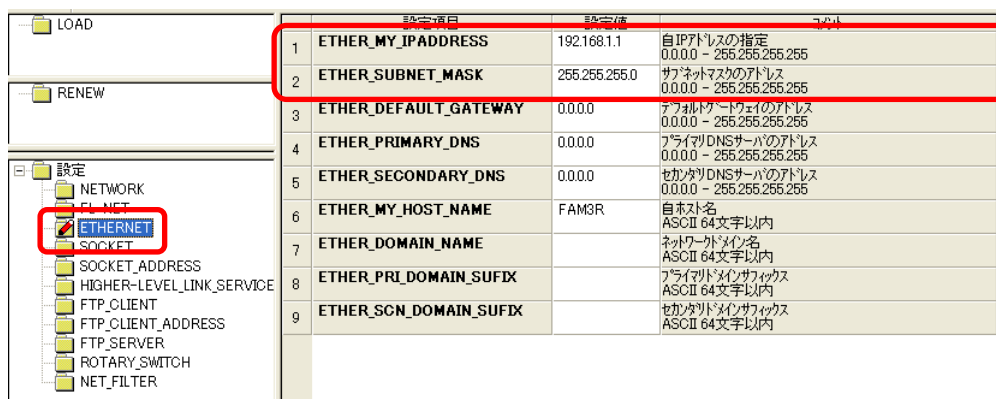
- ⑤ [CPU プロパティ] ダイアログが表示されます。



- ⑥ [NETWORK] フォルダをクリックします。[NETWORK\_SELECT] を“1”に設定します。



- ⑦ [ETHERNET] フォルダをクリックします。SP66-4S の IP アドレス、サブネットマスクを設定します。



- ⑧ [HIGHER-LEVEL\_LINK\_SERVICE] フォルダをクリックします。  
 以下のように設定します。(UDP/IP、バイナリ形式)

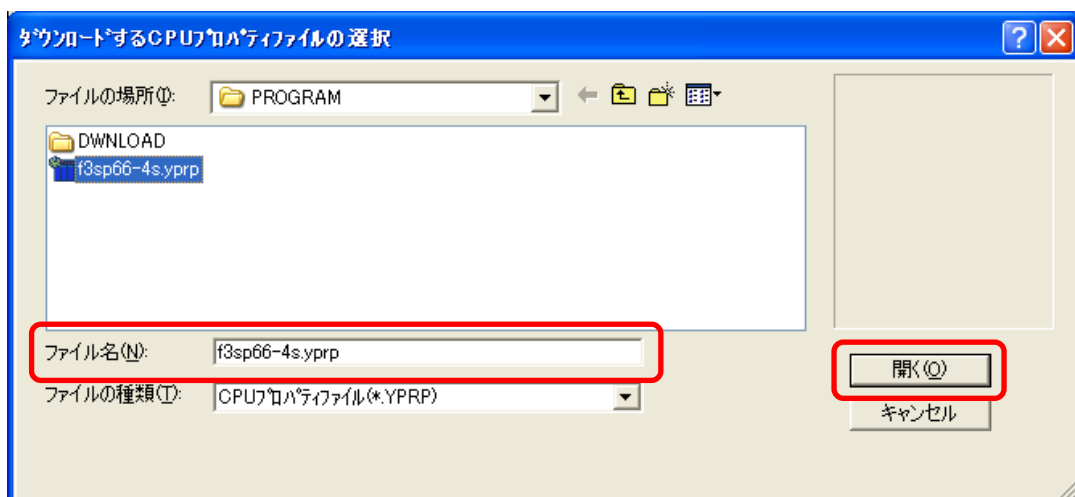
| 設定項目                   | 設定値 | コメント                                      |
|------------------------|-----|---|
| 1 HLLINK_PROTOCOL_A    | 1   | 上位リンクサービス/ホストA フォトコ<br>0=TCP/IP, 1=UDP/IP |
| 2 HLLINK_DATA_FORMAT_A | 1   | ホストA コマンド形式<br>0=ASCII形式, 1=バイナリ形式        |
| 3 HLLINK_PROTOCOL_B    | 1   | 上位リンクサービス/ホストB フォトコ<br>0=TCP/IP, 1=UDP/IP |
| 4 HLLINK_DATA_FORMAT_B | 1   | ホストB コマンド形式<br>0=ASCII形式, 1=バイナリ形式        |
| 5 HLLINK_PROTECT       | 0   | 書き込み許可<br>0=書き込み許可, 1=書き込み不可              |

ポート番号 12289

ポート番号 12291

1、2 の設定はポート番号 12289 の設定  
 3、4 の設定はポート番号 12291 の設定です。  
 TCP/IP 接続時は 1、3 の「設定値」を「0」に設定してください。

- ⑨ [ファイル] → [上書き保存] をクリックし、保存します。  
 [オンライン] → [ダウンロード] → [プロジェクト+CPU プロパティ] をクリックします。  
 [ダウンロードする CPU プロパティファイルの選択] ダイアログが表示されるので、ファイルを選択し、  
 [開く] をクリックします。転送が開始されます。



SP66-4S 側の設定は以上です。電源を再投入します。

4. 接続

◆SIOポートと接続する場合 (RS-232C)

V8 シリーズ CN1 ポートと接続する場合

横河電機製 KM11-xT + ジェンダーチェンジャー

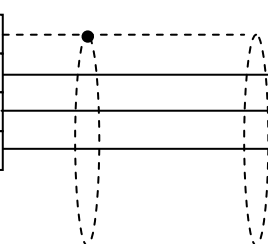
V8 シリーズ MJ ポートと接続する場合

横河電機製 KM11-xT + 下記結線

V8 シリーズ (MJ1/2)

(RJ-45)

|    |   |
|----|---|
| FG |   |
| RD | 7 |
| SD | 8 |
| SG | 5 |



KM11-xT

D-sub 9pin (Male:凸)

|   |    |
|---|----|
|   | FG |
| 2 | RD |
| 3 | SD |
| 5 | SG |
| 7 | RS |
| 8 | CS |

\* ツイストシールド線使用

◆TXポートと接続する場合

市販のLANケーブルをご使用ください。

HUB を使用して接続する場合 : ストレートケーブル

HUB 未使用で 1 : 1 接続の場合 : クロスケーブル

お問い合わせは...

発紘電機株式会社 技術相談窓口 TEL : 076-274-5130 FAX : 076-274-5208